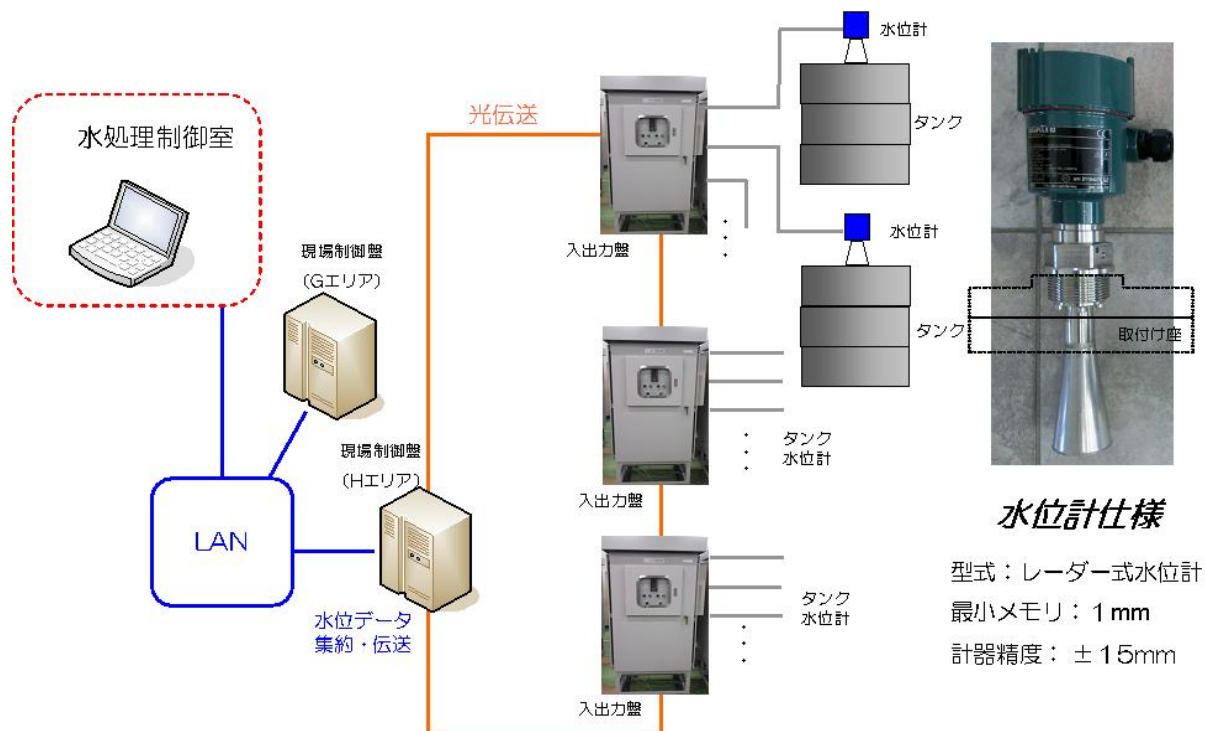


＜水位計設置等による常時監視＞

遠隔での常時監視が可能な水位計を設置し、漏えい監視強化を図る。



○ フランジ締結型タンク

H、Gエリア他のうち、水位計の設置されていないタンクへ順次設置中→11月下旬から随時監視開始予定

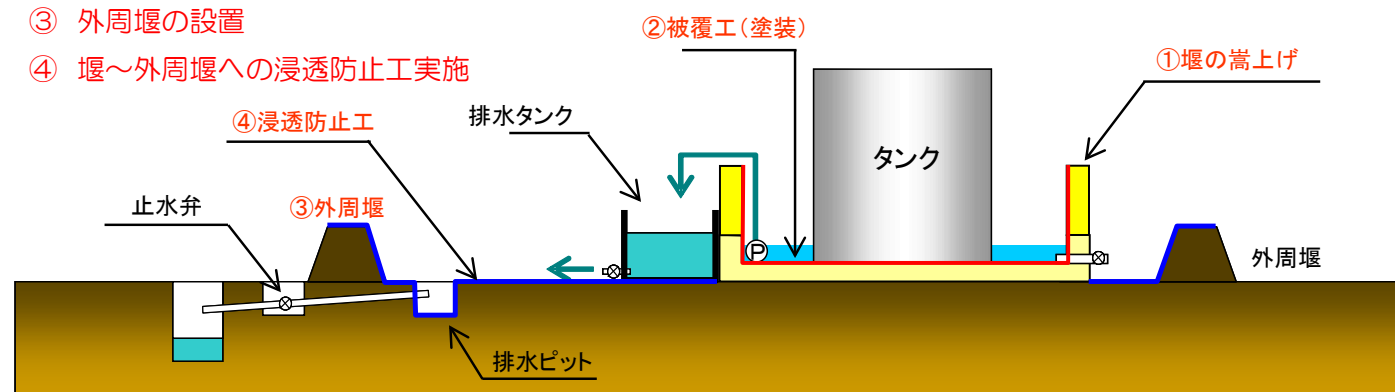
○ 溶接型タンク

H、Gエリア他のうち、水位計の設置されていないタンクへ順次設置に向けて詳細設計中。

→H26.2月中旬目途に随時監視開始予定

＜タンクの堰や基礎部のコンクリート化、嵩上げ、堰の設置＞

- ① 堰の嵩上げ
- ② 堰内の被覆（塗装）
- ③ 外周堰の設置
- ④ 堰～外周堰への浸透防止工実施



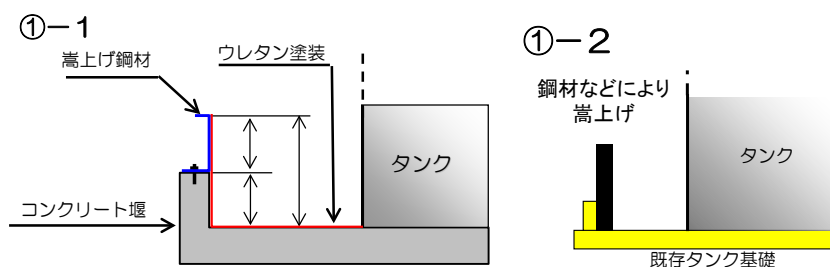
○ 嵩上げ方法

- ① 鋼材による30cm嵩上げ

→12月完了予定

- ② コンクリート等による嵩上げ
(所定の設計高さ)

→H26.3月完了予定



＜様々なケースを想定したリブレース計画への影響評価＞

○ タンクリブレース計画について

溶接型タンクの設置を加速することによりタンク貯蔵容量の余裕を確保し、リブレースを行う。タンク設置の加速については、タンクの大型化、設置場所、廃棄物処理等を含めて検討を進める。

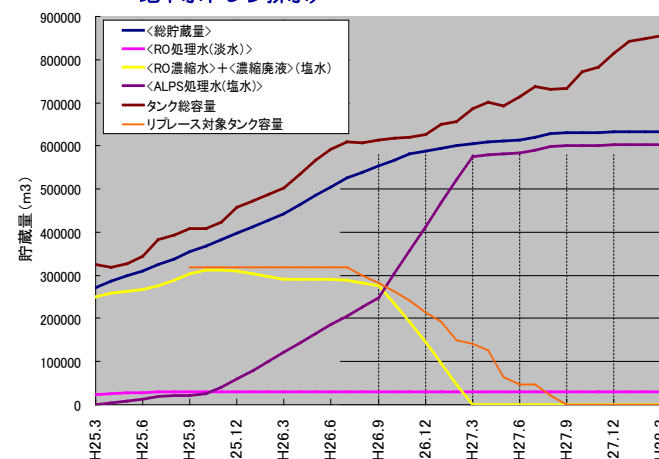
○ 汚染水増加予測ケースについて

今後実施予定の地下水バイパスによる地下水流入量の抑制効果及びサブドレンによる流入抑制効果の有無及び雨水貯水、海側遮水壁に貯まる地下水（地下水ドレン）等を考慮した4ケースについて実施。

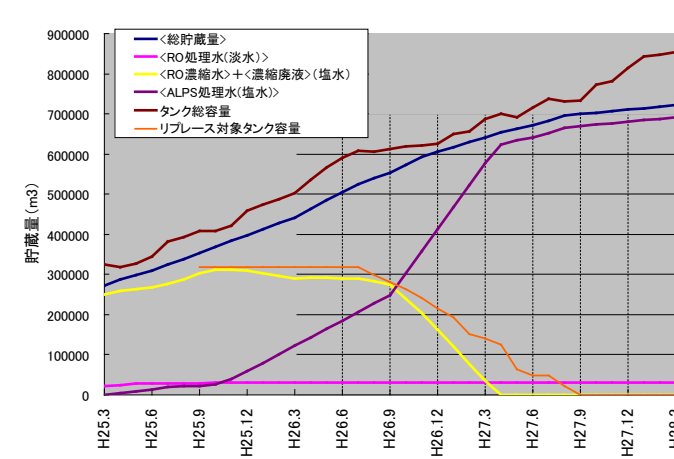
＜評価ケース＞

ケース	地下水バイパス	サブドレン	堰内雨水の扱い	地下水ドレン
1	実施	汲み上げ	排水	排水
2	実施	汲み上げ	排水	貯水
3	実施せず	実施せず	排水	貯水
4	実施	汲み上げ	貯水	貯水

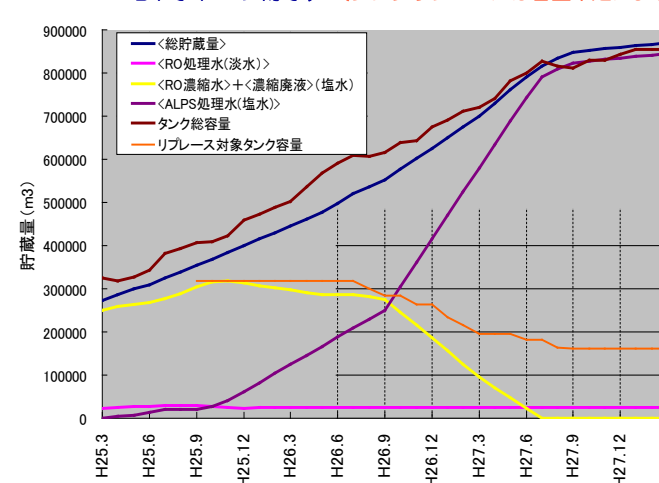
ケース1（地下水バイパス実施、サブドレン汲み上げ、雨水排水、地下水ドレン排水）



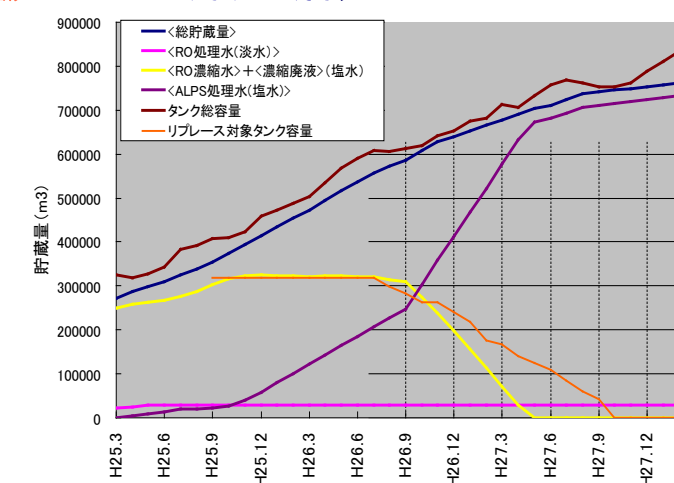
ケース2（地下水バイパス実施、サブドレン汲み上げ、雨水排水、地下水ドレン貯水）



ケース3（地下水バイパス実施せず、サブドレン実施せず、雨水排水、地下水ドレン貯水）（タンクリブレースは容量不足により中断）

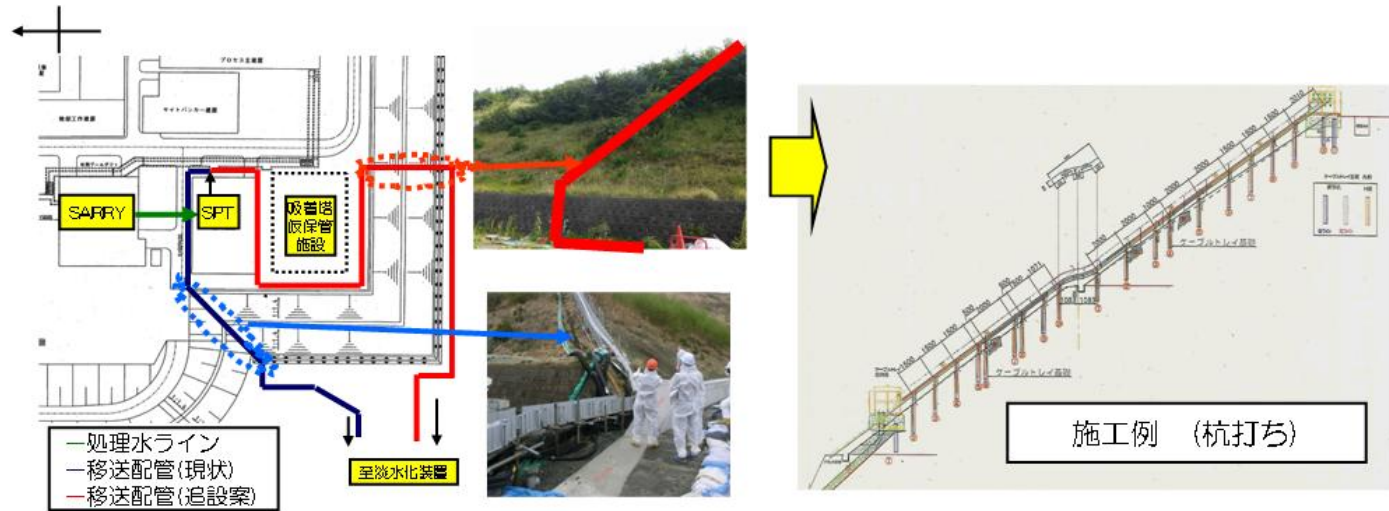


ケース4（地下水バイパス実施、サブドレン汲み上げ、雨水貯水、地下水ドレン貯水）



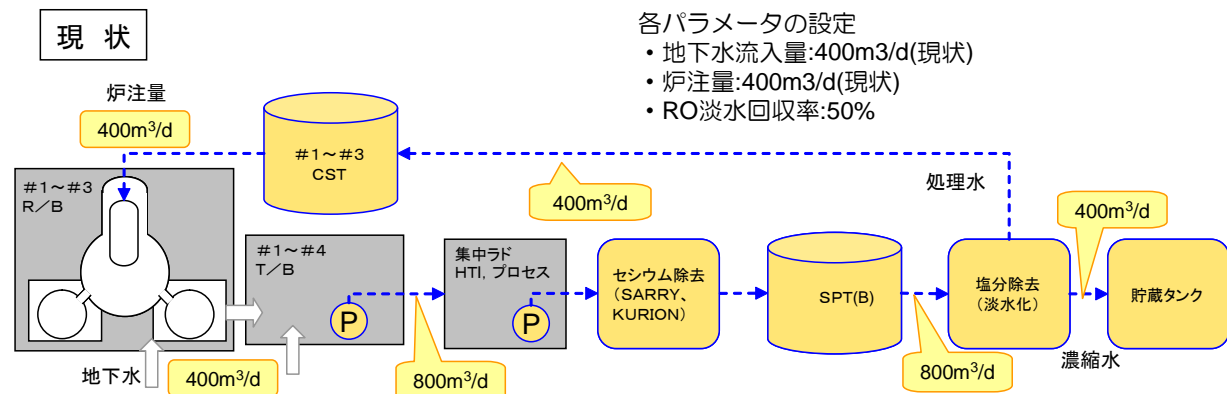
＜降雨等による斜面のすべりに伴う汚染水の移送配管の損傷への対応＞

配管サポート基礎の強化を図った新規ルート（赤）を追加設置する→H26.1月下旬完了予定



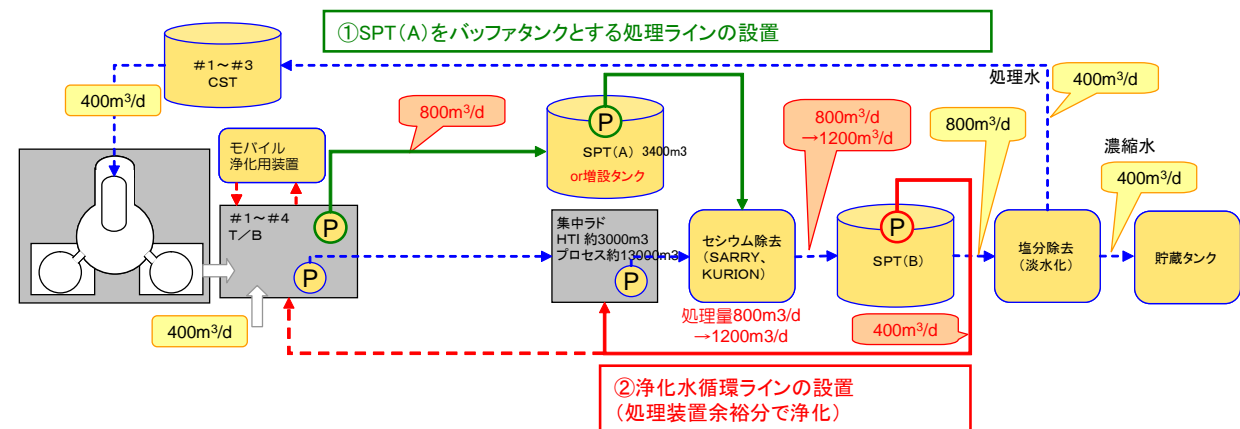
＜HTI 建屋、プロセス建屋に滞留している汚染水の量の低減＞

＜原子炉建屋、タービン建屋の下に滞留している高濃度汚染水への対応＞



各パラメータの設定
 ・地下水流入量:400m³/d(現状)
 ・炉注量:400m³/d(現状)
 ・RO淡水回収率:50%

対策方針の概念図



○ 対応方針

- ① SPT(A)をバッファタンクとして使用する循環ループ構成とし、HTI 建屋・プロセス建屋を徐々にループから外す。
- ② SARRY/KURION での Cs 除去後の水を、タービン建屋、HTI 建屋およびプロセス建屋への戻りラインを設置し、水処理能力余裕分で滞留水の浄化を図る。
- ③ サブドレン運用開始とともに建屋対流水位を徐々に低下させていく。

＜タンクへの雨どい設置＞

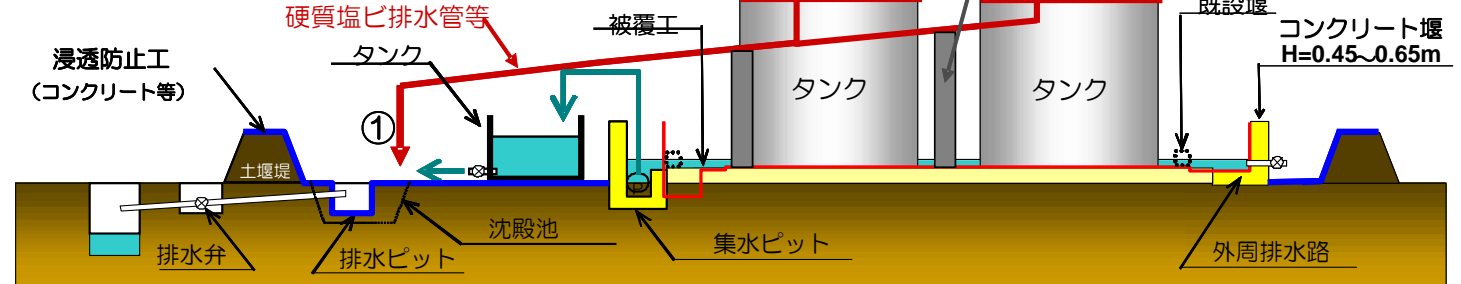
タンク天端に雨どいを設置することでタンクヤードの全面積の約 60%の雨水抑制を行う。

○ 雨どい設置イメージ



雨水排水先

① 土堰堤内の排水溝やその付近へ排水

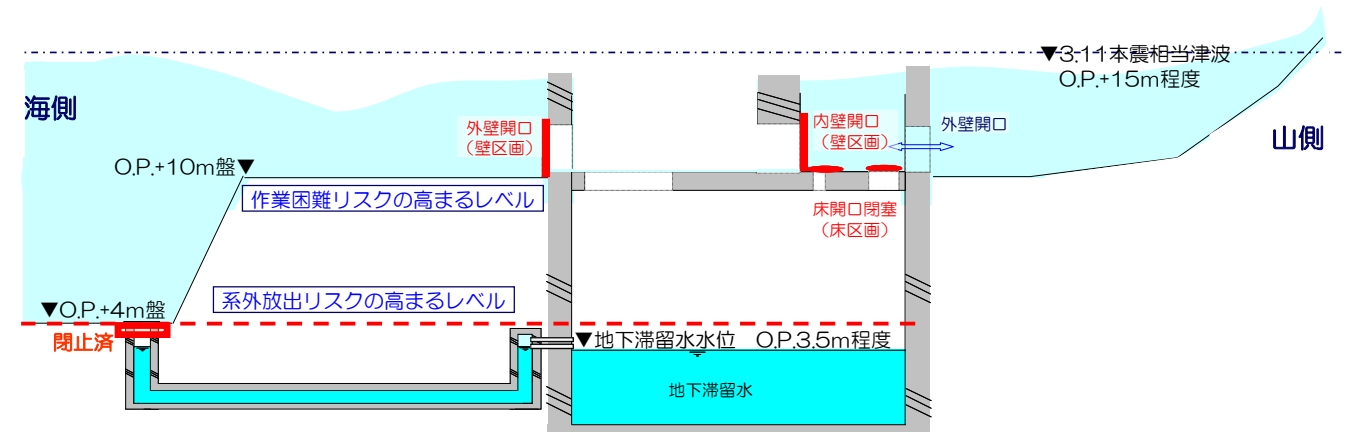


○ 設置スケジュール

- ・ 堰内で高線量汚染が確認されたエリア (H4 北・東、H2 南、H3、B 南) →12月完了予定
- ・ その他のエリア →H26.3月完了予定

＜アウターライズ津波を超える津波リスク＞

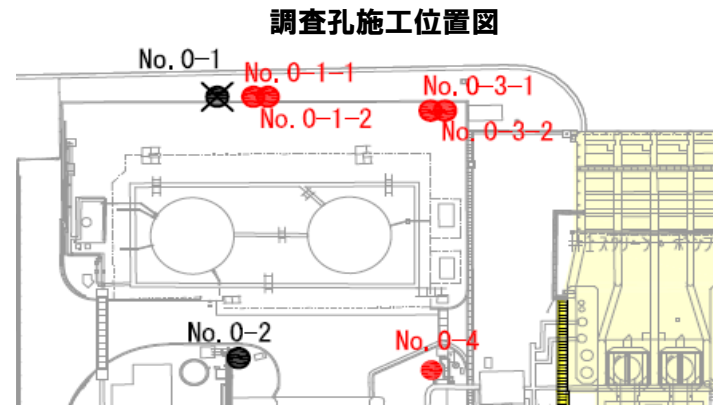
- 「外壁開口部」と「内壁開口部」を閉塞し、壁区画をして防水性を向上
- 「床開口部」を閉塞し、床区画をして防水性を向上
- 「壁」「床」を区画することで、地下滞留水の流出防止対策を図る



「壁・床区画併用」による美防水性向上対策 概略図

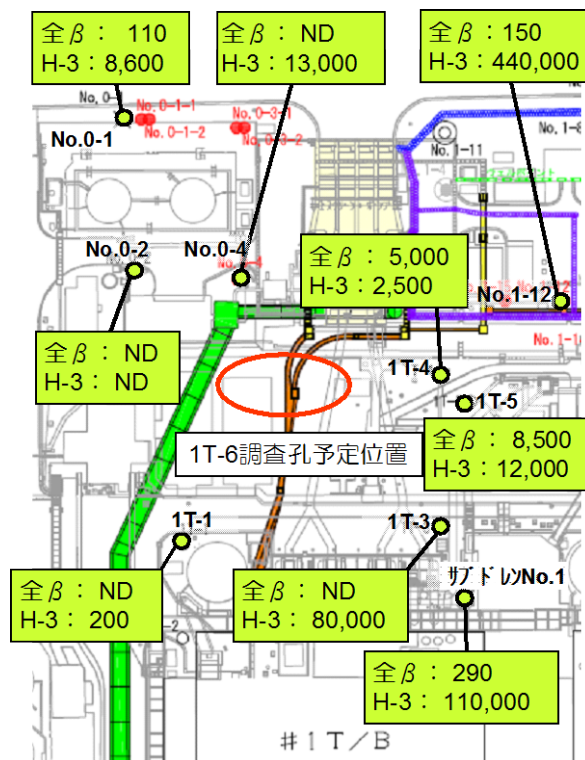
<1号機取水口北側エリアにおける高トリチウムの原因>

調査孔 No.0-1 で検出されているトリチウムの経路を調査するため、追加調査実施中。



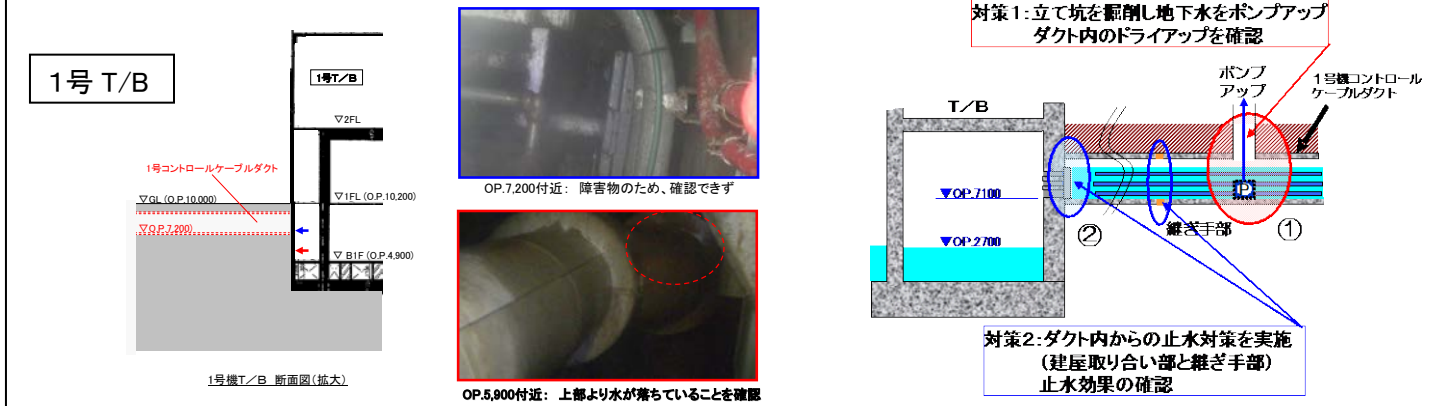
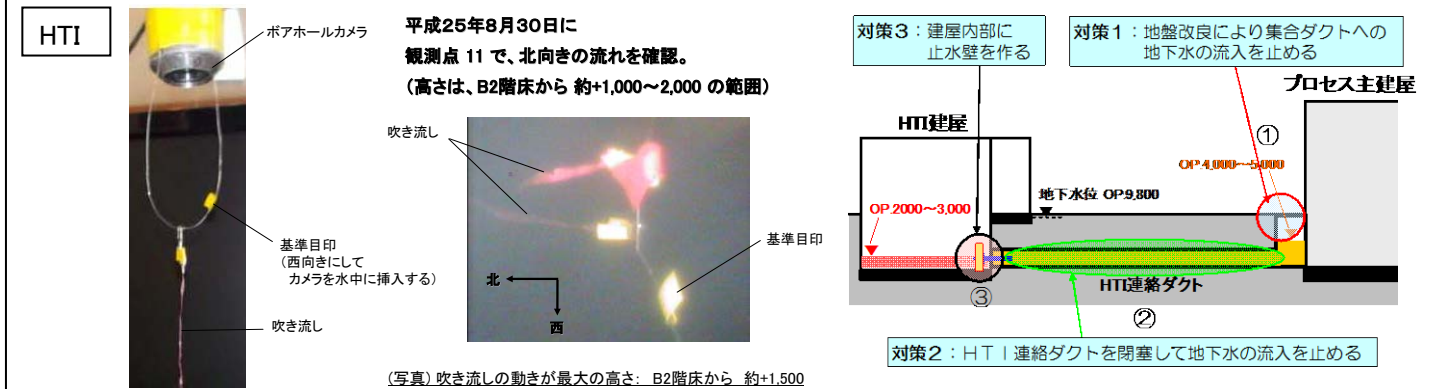
調査孔調査計画

	H25年10月			11月			12月
	上	中	下	上	中	下	上
No.0-1-1							■
No.0-1-2		■					
No.0-3-1						■	
No.0-3-2							■
No. 1T-6							■



<HTI トレンチの止水、1号 T/B ケーブルトレンチ止水>

HTI 建屋トレンチ・1号 T/B ケーブルトレンチの調査結果に基づき、止水を行う。



<海への汚染水流出リスクを低減するための側溝の対策>



○B排水路の暗渠化

万が一、強化した堰から汚染水が流出した場合に備え、排水路への流入対策（暗渠化）を実施する。

※ 12月末工事完了予定



○排水路への連続監視モニタ設置

タンクからの漏えいが発生した場合に備え、海への流出経路となる排水路において放射能を検知するための連続監視用モニタを設置する。

※ 12月より試運用開始予定

○排水路の付替

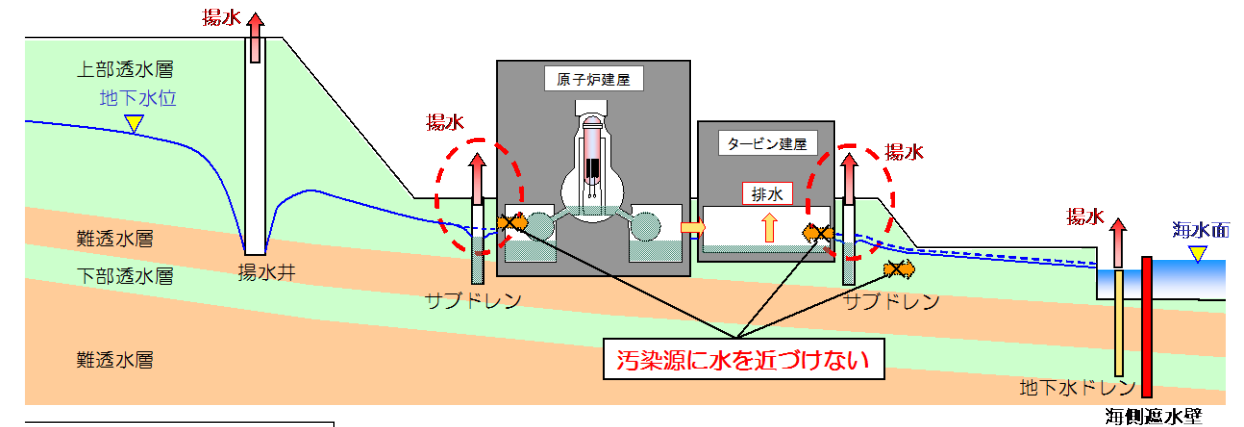
排水先を外洋から港湾内に切り替えられるルートを設置する。

※ H26.3月工事完了予定

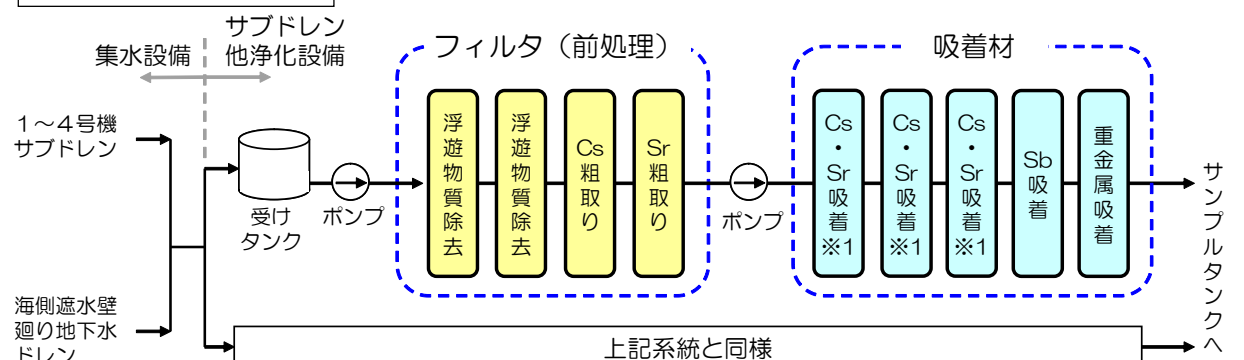
<サブドレン復旧・稼働>

サブドレンを復旧させて。建屋周辺の地下水をくみ上げることにより、建屋内への地下水の流入を抑制する。

また、くみ上げられた地下水は、サブドレン他浄化設備にて浄化する。



サブドレン他浄化設備



※1 塔構成については検討中 (CsまたはSr、あるいはCsとSrの両方を吸着)